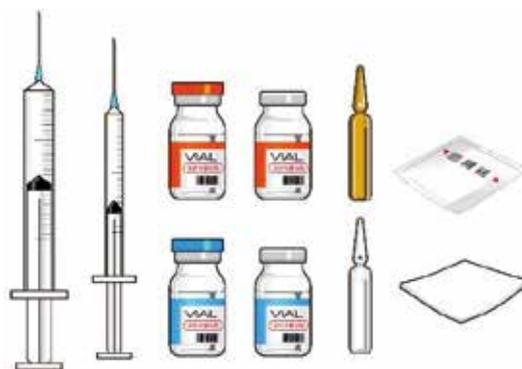


テーマ：確実・簡便なアンプルカッター

■ 背景

- 注射薬はアンプル、バイアル、シリンジなどの形態で市販されている。アンプルはガラス瓶に薬液を封入されたもの、バイアルはゴム製の蓋がついているもの、シリンジは予め薬液が入っている注射筒で、薬剤の安定性や利便性などを考慮して販売されている。
- 中でもアンプルは使用直前に頭部をカットするのだが、このとき、切断部が鋸歯状になったり、破片が指に刺さったりとケガにつながりやすい。また、カットすることが必要となる。



<出典：イラストAC>

■ 現状の対処法

- カット線が入っていたり、親指を添えて力を加える箇所にポイントが記されている商品が販売されている。また、カット線がない場合にはアンプルカッターやヤスリを用いて頸部に傷をつけてから開封する。



現状でもポイントマークが入っており、以前よりは簡便になっているが、不十分である



機能アイデア例

- 切れた面がスムーズで、より簡便に割れる機能
- 割った時に中の溶液がこぼれない機能
- ガラス片が絶対に飛び散らない機能
- 力加減の調整が不要であること(誰でも出来る)
- 手指に怪我をしないこと

■ 市場性

バイアルと比べてアンプルはカットにやや難があるが完全密閉が可能であり、感染事故の懸念がないため、全ての注射剤がバイアルに置き換わることはないと思われる。我が国で1年間に製造されるアンプルは942億本に上り、画期的なアンプルカッターが商品化されると大きな使用機会につながると推定される。

なお、医療用注射剤以外にも有機化学系などの研究にもアンプルに封入された試薬が用いられている。

■ 看護部ホームページ

<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>